

# 高耐力マイクロパイル施工報告

No.16 (1/2)

用 途	<b>新設歩道橋脚基礎</b>
工 事 名	平成17年度円滑国道第2-1-1-2号 交通円滑化事業(国道)
工 事 場 所	宮崎県宮崎市福島町
発 注 者	宮崎県宮崎土木事務所
施 工 時 期	平成17年9月～平成17年10月
杭 形 状	直杭 6.8m～22.3m×24本 (1橋脚当たり4杭×6橋脚)
杭 延 長	301.2m
鋼 管 仕 様	API N-80 $\phi$ 177.8 × 10.36t
標準鋼管長	1.5m
鉄 筋 仕 様	SD490 D51
標準鉄筋長	2.0m
削 孔 方 式	ロータリーパーカッション二重管方式
削 孔 機	クローラタイプ(TDH-100)ノーマルブルーム
空 頭 制 限	なし
上 層 地 盤	シルト
定 着 地 盤	砂岩・泥岩(軟岩)

## 工事の特長

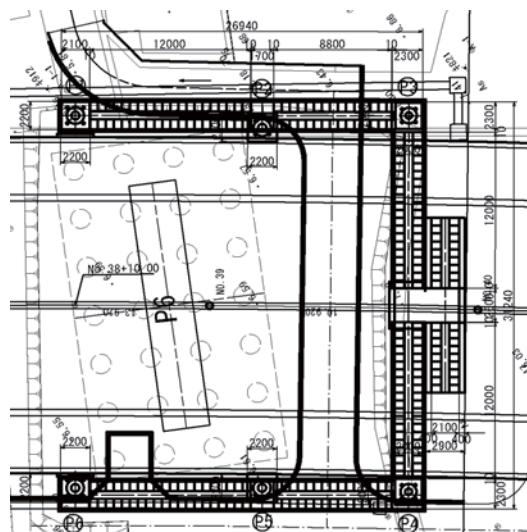
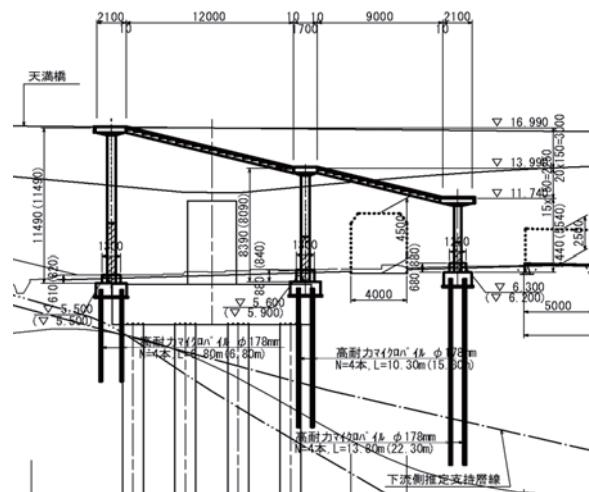
- ・本工事は、国道220号の交通渋滞を緩和するため、国道269号(天満バイパス)工事の一環として、天満バイパスと大淀川の交差部に架かる既設橋梁(天満橋)への昇降設備として歩道橋を新設する工事である。

- ・桁下および測道と隣接する狭隘条件、ならびに、民家に隣接していることから、低騒音・低振動な工法条件により高耐力マイクロパイプが採用された。

- ・民家に隣接していたため、パーカッションの使用を抑え、スパイクチップのインナービットにて削孔していたが、泥岩の削孔にかなりの時間を要したため、地盤を削り取りながら掘進む土丹・粘土用のインナービットに変更した。

これにより多少の削孔時間短縮は見られたが、パーカッションなしでの削孔では、標準歩掛とおりの施工速度の確保が困難であった。

## 概要図および位置図



## 施工状況写真



着工前全景



完成時全景



施工状況



施工状況



施工状況



HMP完成



プラント設備



インナービット(土丹・粘土用)